

先人たちの創造した文化を
継承発展させるために
あなたの力をお貸しください。

+# 収集事業のあらまし

首里城基金の文化遺産収集事業は
このように役立てられています。

目標額
20 億円

基金運用益

文化遺産収集事業
首里城に関する資料収集

収
集

国内外に散逸した
文化遺産を
収集します。

復
元

破損または
消失した遺産を
復元します。

保
存

次の世代のために
文化遺産を
保存します。

育
成

修理・復元・保存に
必要な人材育成を
します。

展示・一般公開

沖縄の新たな文化の創造へ

基金では事業内容の充実を図るため、寄付を募っております。
皆様の暖かい御協力、御支援をいただけますようお願いいたします。

+# 首里城基金のしくみ



■ 受付 ■

一般財団法人 沖縄美ら島財団
首里城公園管理センター

〒903-0815 那覇市首里金城町1丁目2番地 TEL.098-886-2020

■ 振込される場合 ■

沖縄銀行 首里支店(普通) 1318639
琉球銀行 首里支店(普通) 6-495
沖縄海邦銀行 首里支店(普通) 0-482-155
口座名 首里城基金



琉球王国

の歴史ロマンを永遠に

首里城基金

首里城公園



首里城基金へのご協力をお願い

未来へ残そう沖縄の心

首里城は沖縄の歴史と文化の象徴として、わが国の地方文化の域を越えた国民的に貴重な文化遺産ですが、先の大戦において、多くの文化遺産が灰燼に帰したり、国内外に散逸してしまいました。

約450年にわたる琉球王国の王府としての首里城の復元は、長年にわたる県民の悲願でありました。

ご案内のとおり、本土復帰20周年の記念行事として「首里城正殿」が、国、県及び関係者等のご尽力により、平成4年11月に47年ぶりに復元され、首里城公園として一部開園されました。

これを機に、わたくしたち一人一人が沖縄の伝統文化を再認識し、新しい沖縄文化を創造し、発展させることが最も肝要かと存じます。

そのためには、国内外に散逸してしまった首里城関係の文化遺産の収集、保存をするなど、国民的文化財産を蓄積する運動を国民上げて展開する必要があります。このようなことから、その資金源確保を図るべく、県、市町村、各種団体、また多くの方々からご協力を得て、「首里城基金」が設置されました。

これからの新たな文化を創造する上においても、偉大な先人たちが残してくれた貴重な遺産を収集し、広く紹介することは、大きな意義があります。

何卒、この基金造成の趣旨をご賢察いただき、「首里城基金」の充実に皆様方の絶大なるご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



復元、収集された文化遺産
首里城基金により



ちゅうざんせいど
扁額 中山世土

この扁額は、康熙22年(1683年)、尚貞王を冊封する際に、康熙帝(こうきてい)から下賜され、冊封正使・汪楫(おうしゅう)によってもたらされたものである。首里城正殿内の往時の姿を再現するため扁額の復元が重要とされ、平成7年11月1日に実現した。



染織

きぬきいろしうめかえでさくらゆきわてまりもんようびんかたあわせしやう
絹黄色地梅桜雪輪手鞠紋様紅型袷衣裳

上質の絹を黄色の地色に染め、梅・桜・楓を鮮やかに描いた紅型衣裳。このような型紙で製作された紅型は類例がない。絹布の質、作品の完成度から、まさしく王家の人が使用した衣裳だったであろうと思われる。

しやうたいおうしよ
書跡 尚泰王書

尚泰は第二尚氏王統第19代、琉球王国最後の国王。この書は防空壕の中から発見されたもので「大如居士」という法名の落款があり、紙・墨の時代も合致することから唯一本人の墨跡資料であり価値が高い資料である。

